

新町制施行40周年記念式典

来賓多数を招き盛大に

町政功労者98名を表彰



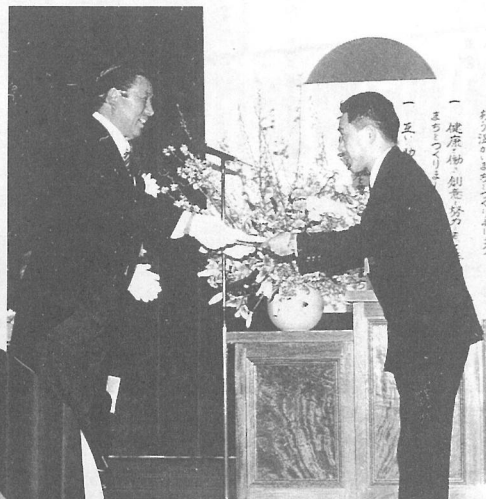
▲ 式辞を述べる實川町長

昭和30年に誕生した私たちのふるさと横芝町は、今年40周年という大きな節目の年を迎えました。町ではこれを記念して、「町の誕生」を祝う新町制施行40周年記念式典を2月1日に盛大に行いました。また、40周年記念事業の一環として、「明るく住みよい文化都市」の発展と平和を願って町民憲章も制定しました。

式典は、町文化会館を会場に挙行され、来賓、町政功労者など約350人が列席。實川町長式辞、齊藤議会議長あいさつと続いたあと、各分野で町政に功労のあった方々など98名に表彰状や感謝状を贈呈しました。また、町民の方々から募集した作品を基に制定された町民憲章が会場で発表され、列席者全員で唱和。入選者に賞状を贈りました。

このほか、次代を担う町内小中学生の児童・生徒から募集した記念作文の入賞者の発表もあり、伊藤志保さん(横小5年生)と廣瀬梓さん(横中2年生)が入賞者を代表して作品の朗読を行いました。また、式典終了後に、ふれあい坂田池公園や坂田城址、工業団地、駅前広場などをスライドで紹介するアトラクションも行われました。

▼ 記念作文を朗読する横芝小5年生伊藤志保さん(上)と横芝中2年生廣瀬梓さん(下)



▲ 式典では町民憲章入選者の表彰も行われました

